

EXCELLENT & DYNAMIC

2021年度 中間決算概要

取締役専務執行役員
管理本部長
豊原 浩



金額は億円未満を四捨五入しております。

EXEDY
株式会社 エクセディ

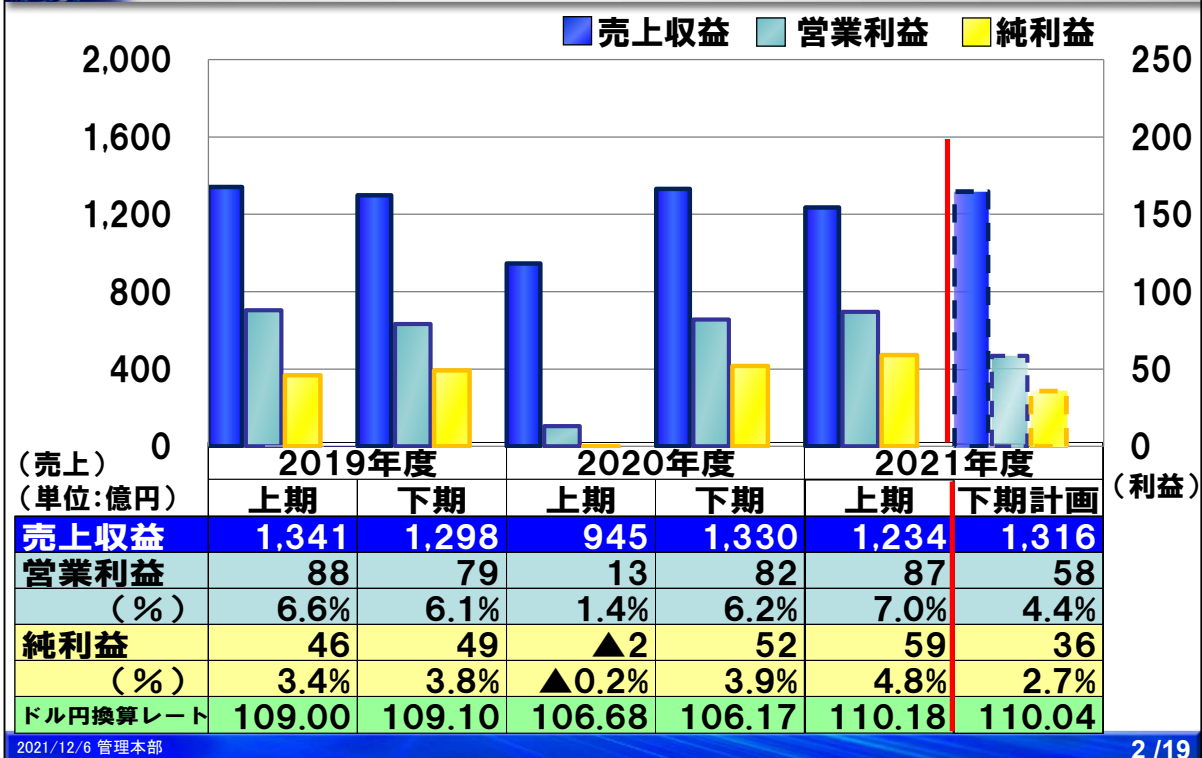
2021/12/6 管理本部

1/19

2021年度上期（2021年4月1日～2021年9月30日）の決算概要、および2021年度下期及び通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の見込についてご説明申し上げます。



営業成績



【営業成績】

連結売上収益、営業利益、純利益の推移でございます。

2021年度上期は、コロナウィルス感染症の影響からの回復により、売上収益は前年同期比30.6%増の1,234億円となりました。

利益面では、売上収益の増加により、営業利益は前年同期比568.3%増の87億円、純利益（親会社の所有者に帰属する部分）は、前年同期において2億円の損失でありましたが、59億円の利益となりました。

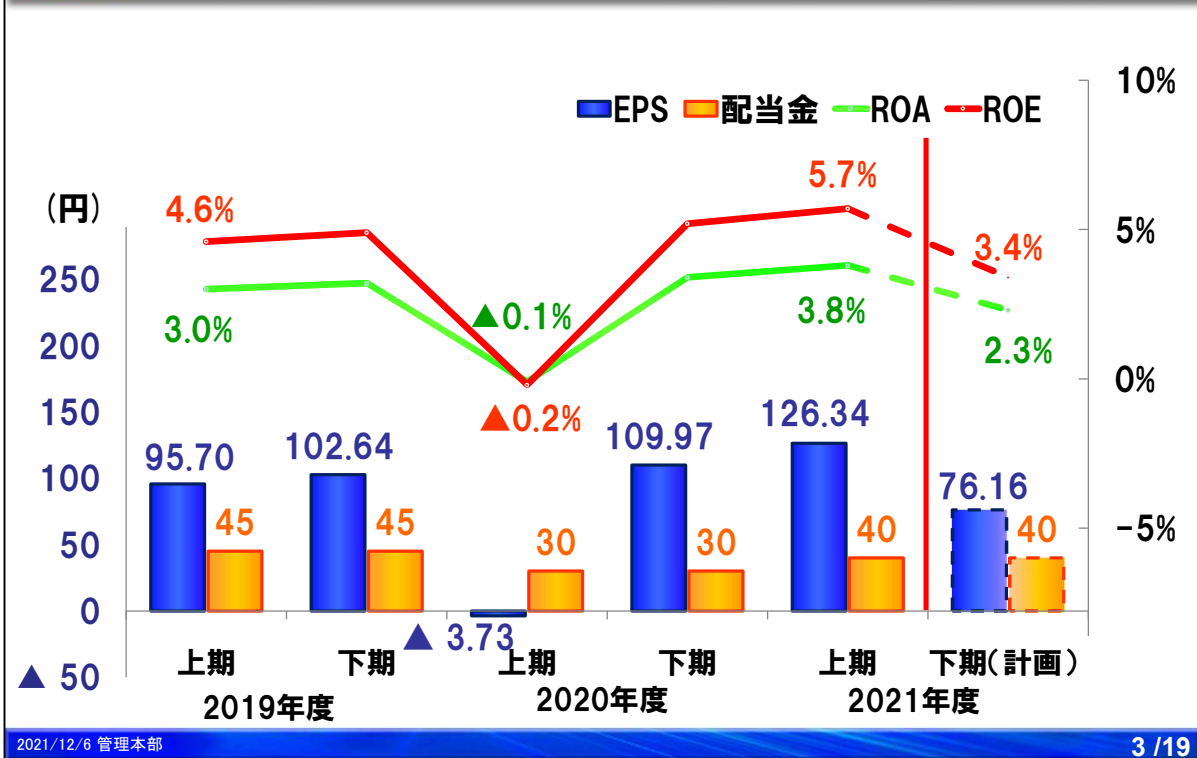
2021年度下期においては、半導体不足による完成車メーカー各社の生産計画への影響が不透明であります。売上収益は上期比6.7%増の1,316億円となる見込みです。

一方、利益面につきましては、素材の市況高騰による材料費・外注費の悪化が見込まれることから、営業利益、純利益（親会社所有者に帰属する部分）についてはそれぞれ上期比32.6%減の58億円、39.7%減の36億円を見込んでおります。

従いまして、2021年度通期の見込みとしましては、売上収益 2,550億円（前連結会計年度比12.1%増）、営業利益 145億円（同52.4%増） 純利益（親会社所有者に帰属する部分） 95億円（同90.7%増）となる予定です。



指標推移

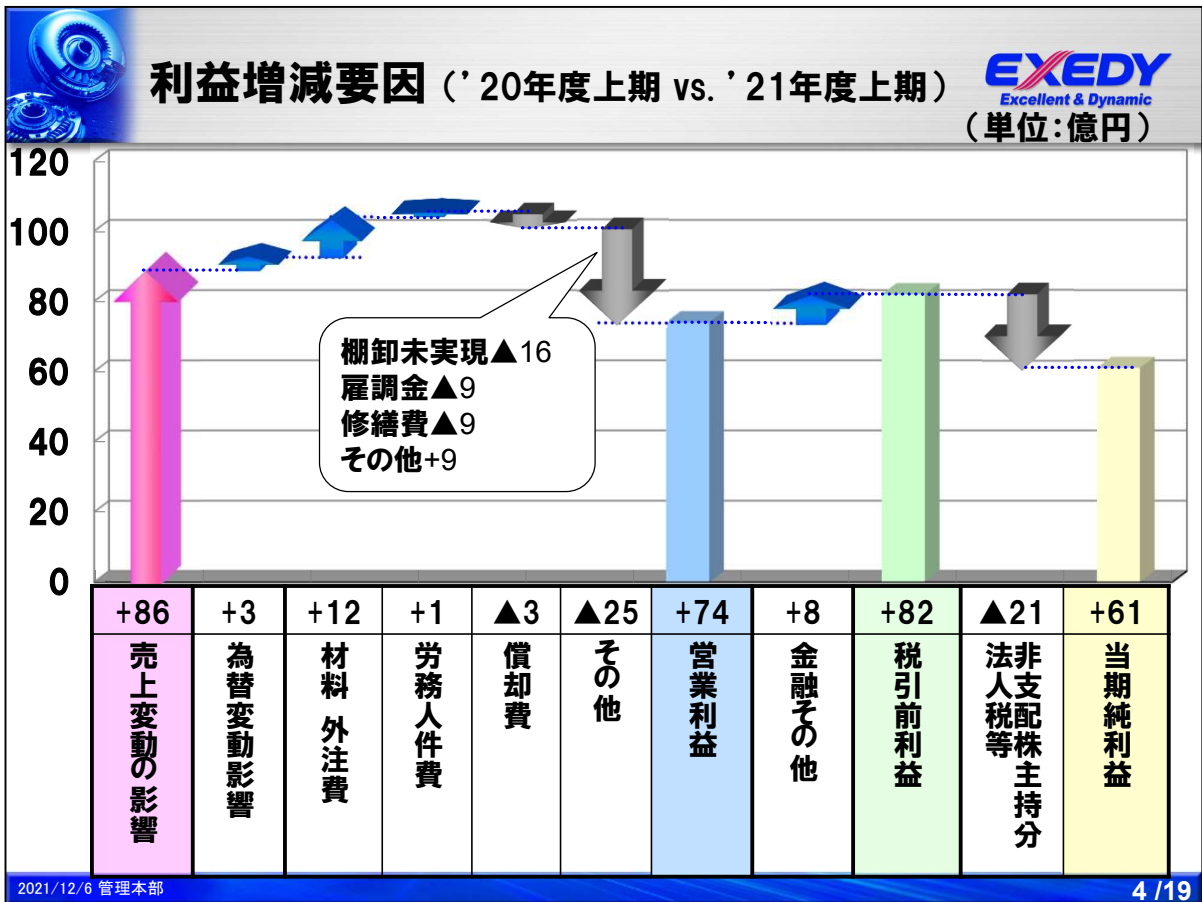


【指標推移】

ROA、ROE及び1株当たり利益（EPS）、配当金の推移でございます。

ROE、ROA、EPSにつきましては、2021年度上期においては前年同期比で増益により上昇(増加)となり、2021年度下期は上期比で減益により低下(減少)となる見込みです。

配当につきましては、2021年度上期40円、下期40円の合計80円とさせていただく予定です。



【利益増減要因（20年度上期実績vs21年度上期実績）】

2021年度上期対2020年度上期の利益増減要因でございます。

増益の最大の要因は、コロナウィルス感染症の影響からの回復による売上収益の増加で、前年同期比で売上収益が289億円増加したことにより、86億円の増益要因となりました。

材料・外注費につきましては、市況変動による素材(鋼材・樹脂等)価格の上昇が一部見られるものの、当上期時点では利益悪化影響は限定的であり、寧ろスクラップ収入の増加として利益を押し上げる形となりました。

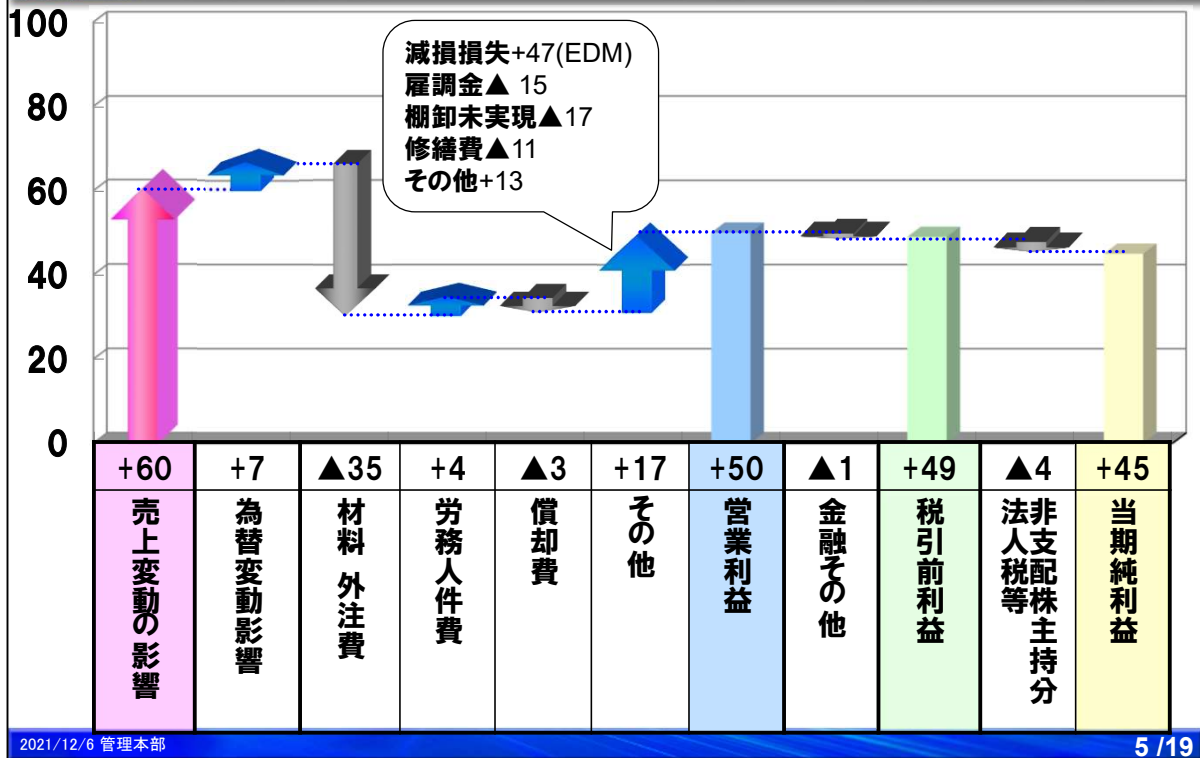
前年度上期において受給していた雇用調整助成金が当上期においては減少、売上の回復により販売子会社における在庫が増加、その結果未実現利益の消去が利益を減らす方向で効いていること、また前年度上期においては抑制をしていた設備メンテナンス等修繕費の増加といった減益要因があるものの、売上増加の影響が上回り、営業利益は74億円の増加となりました。



利益増減要因（'20年度通期 vs. '21年度計画）



（単位：億円）



【利益増減要因（20年度通期実績vs21年度通期見込み）】

2021年度通期見込み対2020年度通期実績の利益増減要因でございます。

上期と同様、売上増加による利益押し上げはあるものの、半導体不足の影響により売上回復に鈍化がみられることから、通期の影響としては60億円程度にとどまる見込みです。

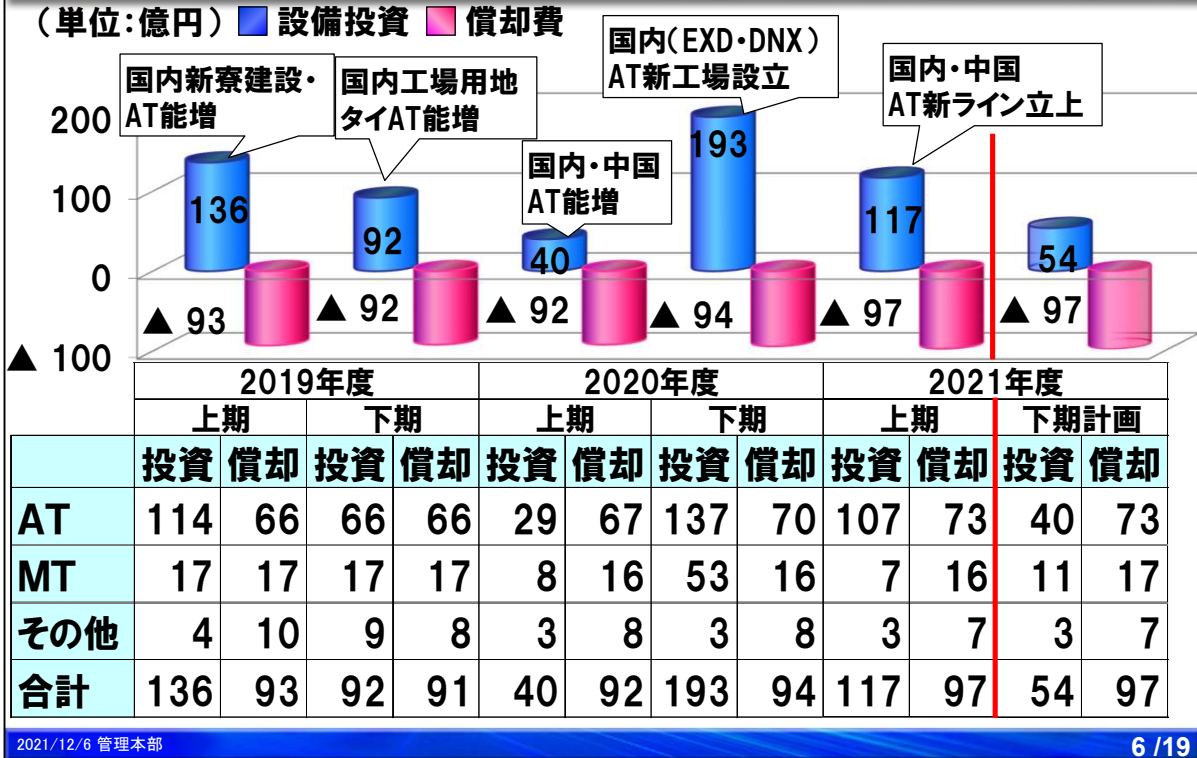
一方、材料・外注費につきましては、当下期より素材価格の上昇が本格化する見込みであり、一部顧客に転嫁する等の対応はとるものの、コスト増は避けられず大きく利益を押し下げると見込んでいます。

素材価格高騰の影響につきましては、4月時点でも見込んでおりましたが、最新の調査により当初よりも減益影響が大きくなる見込みであります。

その他、雇用調整助成金の減少、未実現利益の消去の影響、修繕費の増加といった減益要因があるものの、2020年度で計上したメキシコ子会社の減損損失47億円がなくなることが利益を増やす方向で効いてくるため、最終的には50億円の営業利益増加を見込みます。



設備投資



【設備投資】

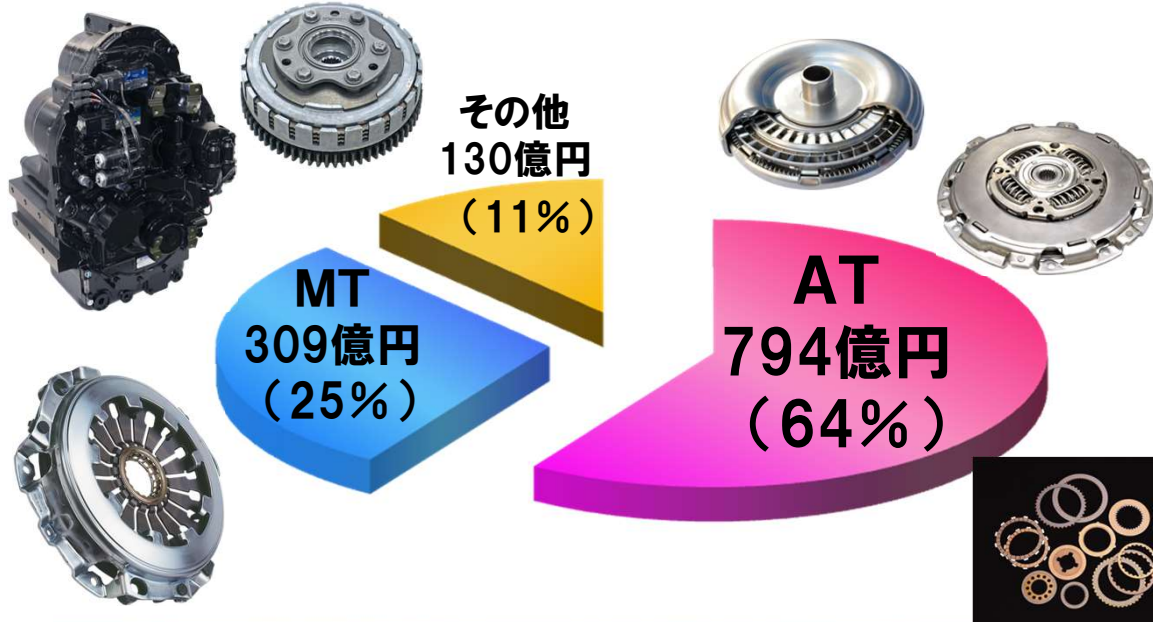
設備投資と減価償却費の金額推移でございます。

2021年度上期においては、当初計画通り国内及び中国においてATの新ライン及び大型プレスなどに117億円の投資を実施し、減価償却費は97億円となりました。

2021年度下期は主にEXD本体における投資が中心となります。



2021年度上期 連結売上 1,234億円



【事業領域】

ここから、弊社グループの事業セグメントについて紹介させていただきます。



AT 2021年度上期 連結売上

794億円

構成比
前年同期比

64%
+23%



低速ロックアップ
トルクコンバータ



プラグインハイブリッド
車用ダンパー



湿式クラッチディスク



クラッチアッシー

【AT事業製品】

弊社の事業セグメントの中で売上収益が一番大きいのはAT（自動変速装置関連事業）でございます。

2021年度上期の売上収益は794億円、連結売上収益総額に占める構成比は64%です。

AT事業の製品は4輪のAT車で使用されるトルクコンバータ、ダンパー、クラッチ部品などがございます。



MT

2021年度上期 連結売上

309億円

構成比
前年同期比

25%
+49%



2021/12/6 管理本部

9 / 19

【MT事業製品】

もう一つの事業セグメントはMT（手動変速装置関連事業）でございます。

2021年度上期の売上収益は309億円、連結売上収益総額に占める構成比は25%です。

MT事業の製品は、4輪のMT車で使用されるクラッチでございます。



その他事業製品



その他

2021年度上期 連結売上

130億円

構成比	11%
前年同期比	+44%

建設機械・産業車両用製品



2輪車用クラッチ

ラフテレーンクレーン用
トランスミッション



トルクコンバータ

油圧クラッチ

【その他事業製品】

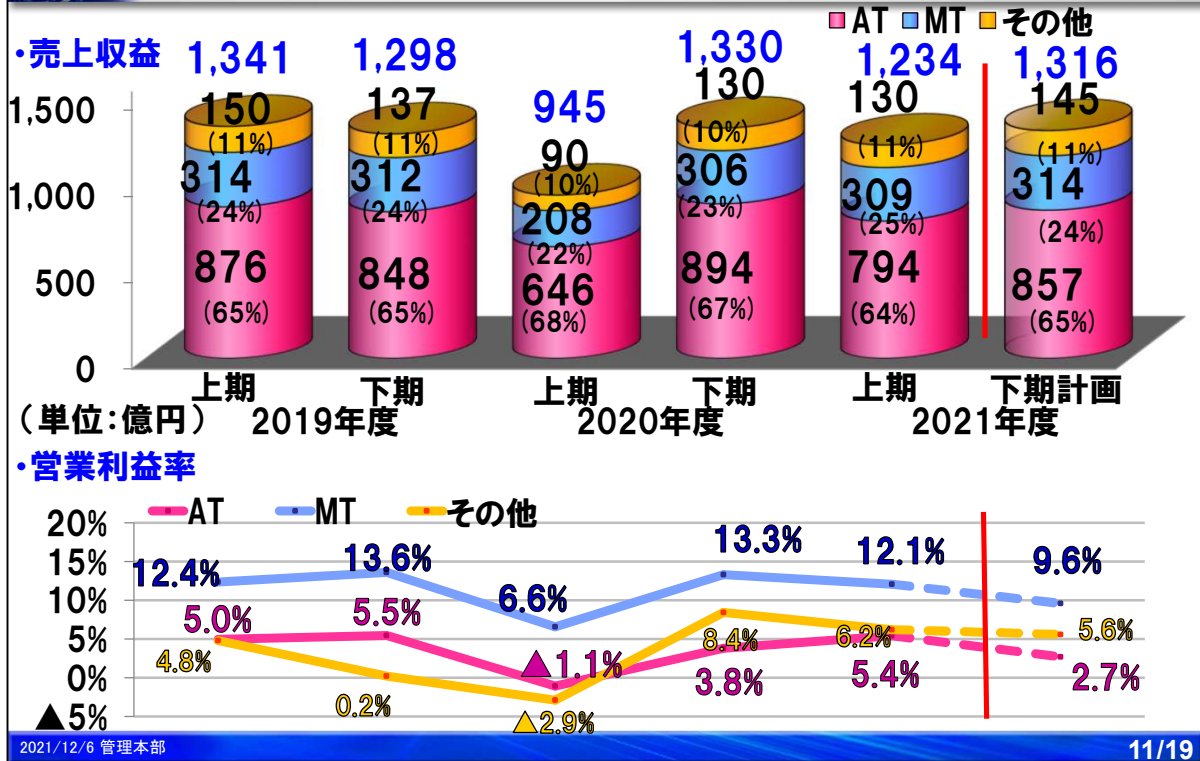
AT事業にもMT事業にも属さない事業をその他事業としております。

2021年度上期の売上収益は130億円、連結売上収益総額に占める構成比は11%です。

その他事業の製品は、建設用・産業用機械向けの駆動伝導装置や2輪車用クラッチ、運送業などを含んでおります。



事業別 損益推移



【事業別 損益推移】

事業セグメント別の売上高と営業利益率の推移でございます。

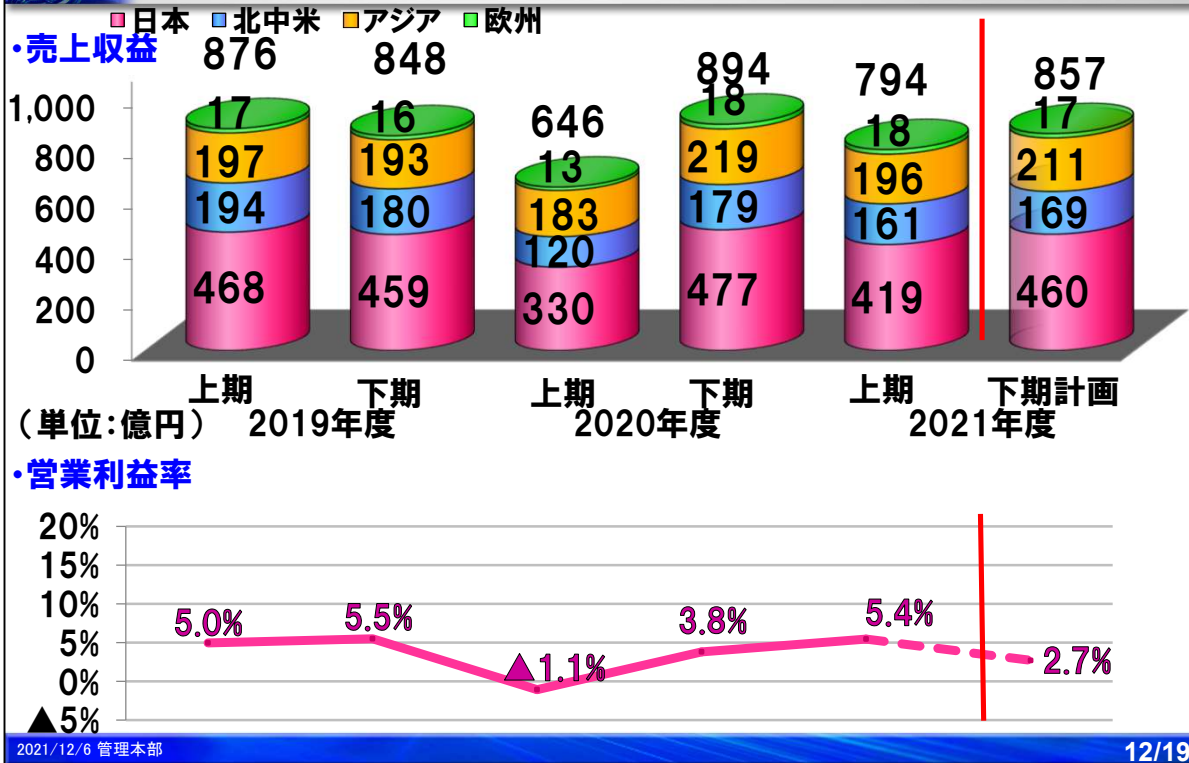
2021年度上期は、コロナウィルス感染症の影響からの回復により前年同期比で全ての事業セグメントにおいて増収となりました。

増収の影響により、各セグメントの営業利益率は上昇しました。

2021年度下期においては、各事業セグメントとも上期比で増収となりますが、素材価格高騰の影響を受け営業利益率は低下する見込みです。



売上収益変動内訳 AT



【売上収益変動内訳 AT】

AT事業セグメントの売上収益を地域別に見たものがございます。

2021年度上期においては、コロナウィルス感染症の影響からの回復により、全地域で前年同期比増収となりました。

2021年度下期においては、半導体不足の影響を受けつつも、欧州を除く全地域で上期比増収を見込んでおります。

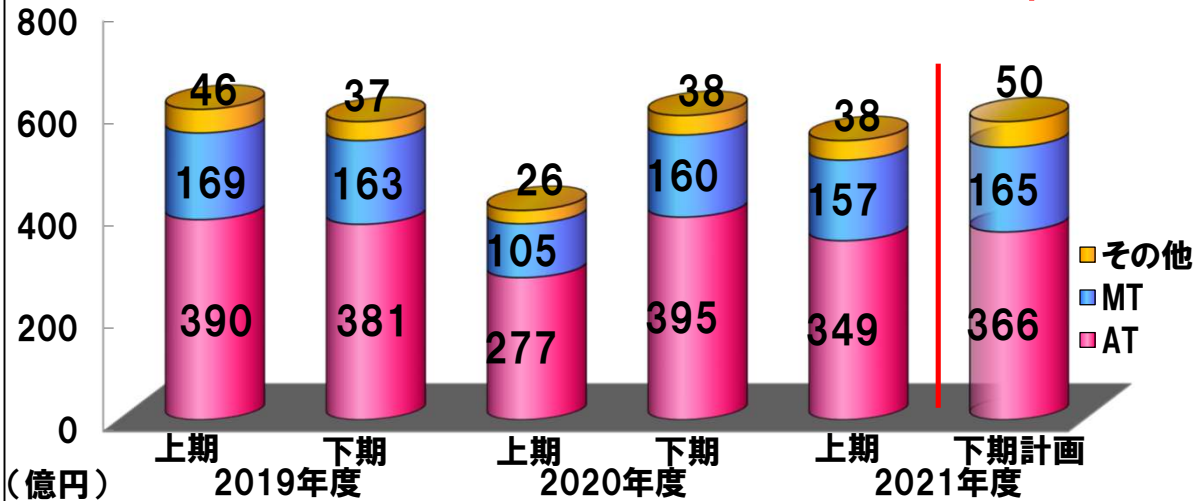
但し、素材価格高騰の影響を大きく受け、営業利益率は低下する見込みとなります。



エクセディ (EXD)

EXEDY
Excellent & Dynamic
(単位: 億円)

期 間	2019年度		2020年度		2021年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益	605	580	408	593	544	581
営業利益(率)	21 3.5%	30 5.1%	▲6 ▲1.4%	33 5.5%	30 5.6%	15 2.5%
税引前利益(率)	55 9.1%	37 6.4%	14 3.4%	49 8.2%	64 11.8%	16 2.7%
純利益(率)	46 7.6%	34 5.8%	11 2.6%	41 6.9%	53 9.7%	12 2.1%



2021/12/6 管理本部

13/19

【エクセディ (EXD)】

ここからしばらく、AT事業セグメントの主要各社の業績推移をご覧ください。
まず、弊社エクセディでございます。

2021年上期は前年同期比で増収となり、2021年度下期においては上期より増収となる見込みです。

利益については、スクラップ価格上昇などにより、2021年度上期は前年同期比で利益率が上昇しましたが、これまでのご説明の通り、素材価格高騰の影響を受け、2021年度下期は上期より利益率が低下すると見込んでおります。

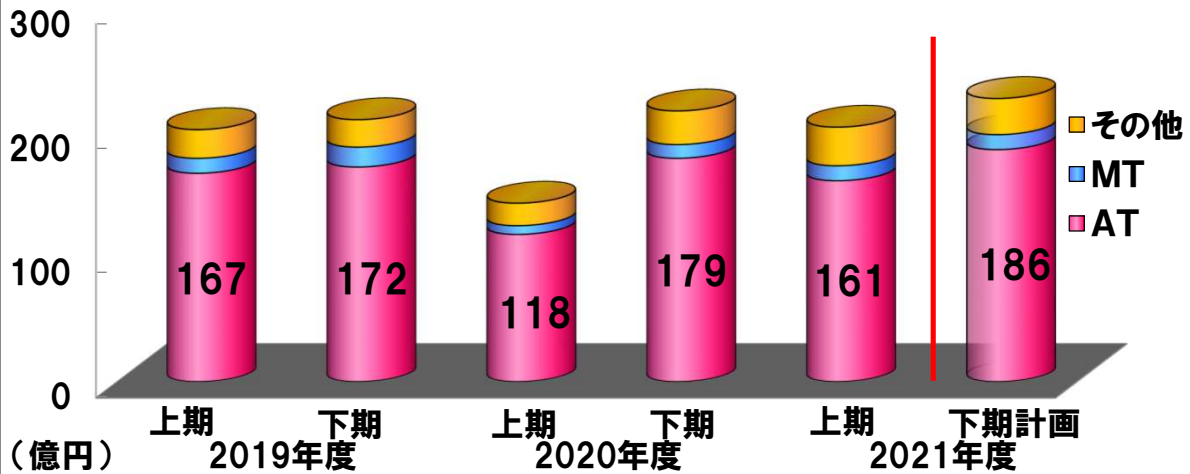


ダイナックス (DNX)



(単位:億円)

期 間	2019年度		2020年度		2021年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益	206	211	143	217	204	227
営業利益(率)	16 7.9%	18 8.4%	▲2 ▲1.7%	28 13.0%	18 9.0%	11 4.8%
純利益(率)	16 7.7%	14 6.6%	1 0.8%	18 8.3%	15 7.5%	8 3.5%



2021/12/6 管理本部

14/19

【ダイナックス (DNX)】

弊社グループ最大の子会社、北海道にあるダイナックスでございます。

こちらもエクセディと同様、2021年度上期は前年同期比で増収増益、下期は上期比で増収ながら減益となります。

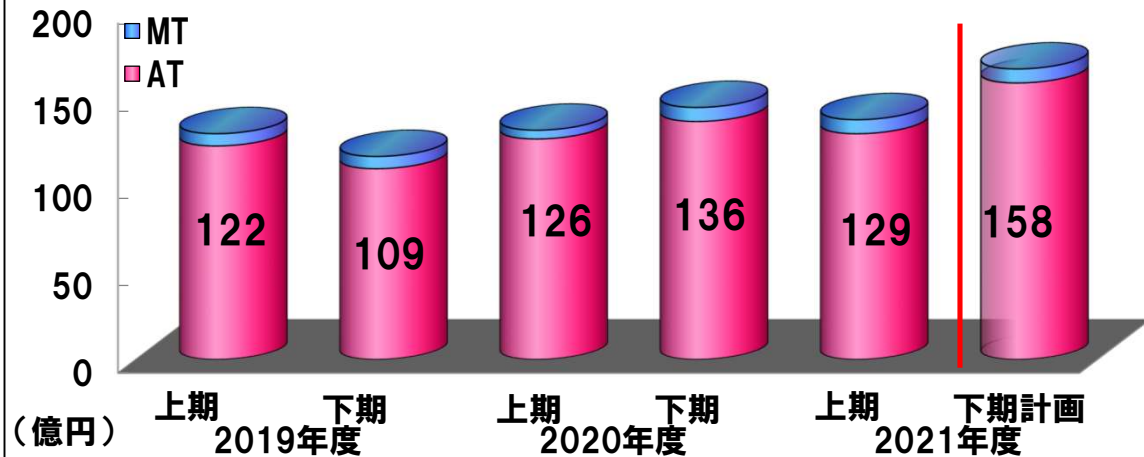


エクセディ ダイナックス 上海 (EDS)

EXEDY
Excellent & Dynamic

(円貨:億円 外貨:百万円)

期 間	2019年度		2020年度		2021年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益(外貨)	130 (827)	115 (742)	132 (865)	144 (899)	137 (805)	166 (974)
営業利益(外貨)	10 (63)	8 (48)	9 (57)	12 (78)	7 (41)	6 (34)
純利益(外貨)	5 (32)	4 (24)	5 (34)	8 (50)	4 (22)	7 (15)



2021/12/6 管理本部

15/19

【エクセディダイナックス上海 (EDS)】

中国、上海に所在するエクセディダイナックス上海でございます。

中国拠点については、2020年度はコロナウィルス感染症による影響をほとんど受けておらず、2021年度上期は前年同期比で若干の増収にとどまっております。

2021年度下期は新規ビジネスの立ち上がりにより上期比で増収を見込んでおりますが、他拠点と同様、素材価格高騰の影響により利益は減少の見込みです

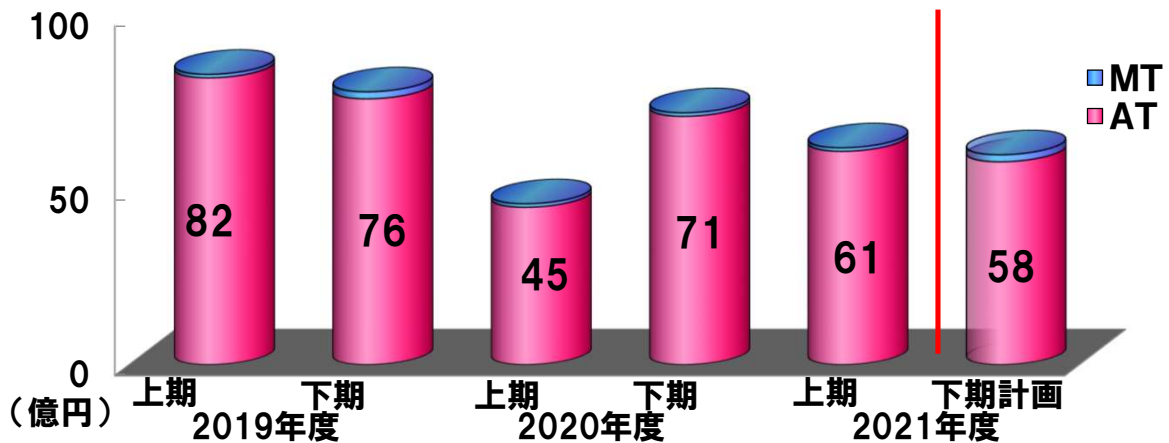


エクセディ ダイナックス メキシコ (EDM)



(円貨:億円 外貨:百万USD)

期 間	2019年度		2020年度		2021年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益(外貨)	84 (77)	78 (72)	46 (43)	73 (69)	62 (56)	59 (54)
営業利益(外貨)	4 (3)	5 (5)	▲2 (▲2)	▲42 (▲40)	▲0 (▲0)	▲2 (▲1)
純利益(外貨)	2 (2)	1 (1)	▲1 (▲1)	▲30 (▲29)	0 (0)	▲1 (▲1)



2021/12/6 管理本部

16/19

【エクセディダイナックスメキシコ (EDM)】

メキシコ、アグアスカリエンテスにあるエクセディダイナックスメキシコです。

2021年度上期は前年度のコロナウィルス感染症の影響からの回復により前年同期比増収、赤字幅は縮小しました。

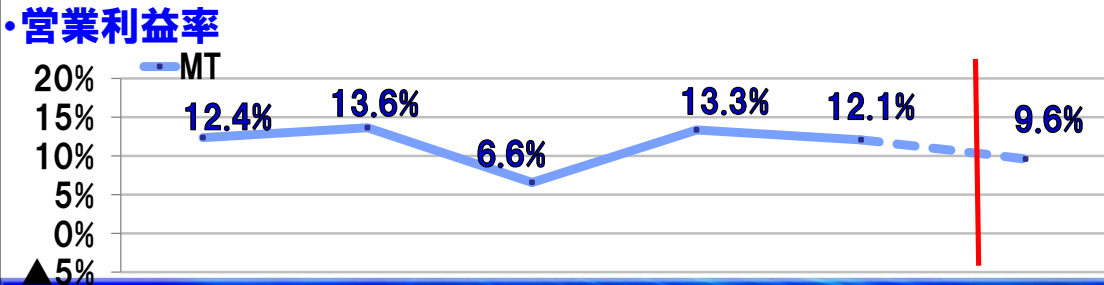
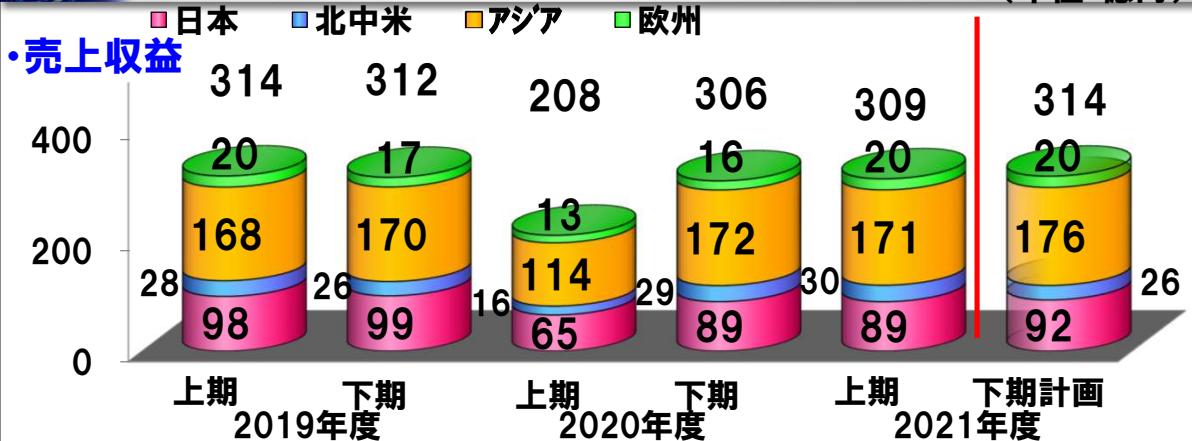
2021年度下期は上期比で減収の見込みに加え、素材価格高騰の影響もあり赤字幅が拡大する見込みです。



売上収益変動内訳 MT



(単位:億円)



2021/12/6 管理本部

17/19

【売上収益変動内訳 MT】

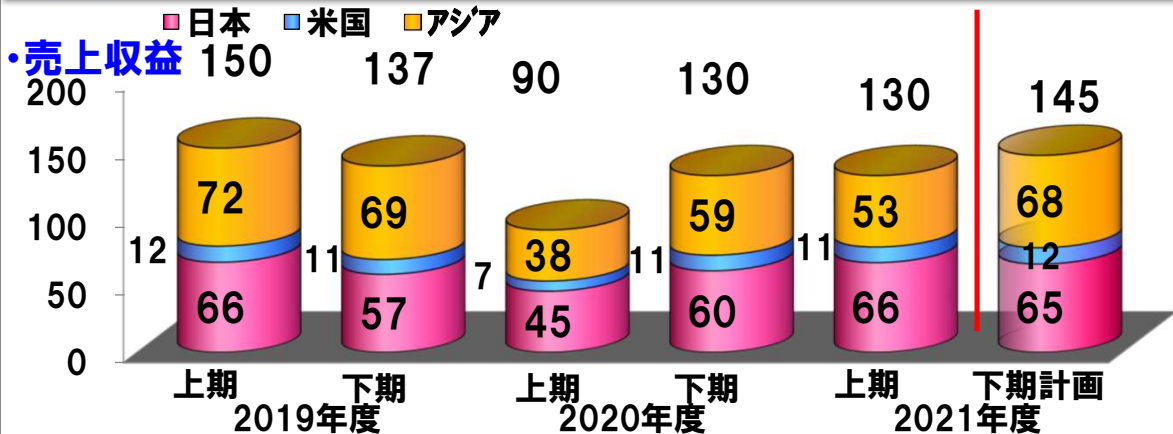
MT事業セグメントの売上収益を地域別に見たものがございます。

2021年度上期は、コロナウィルス感染症の影響からの回復により、全地域で前年同期比増収となり、増収により営業利益率は上昇しました。

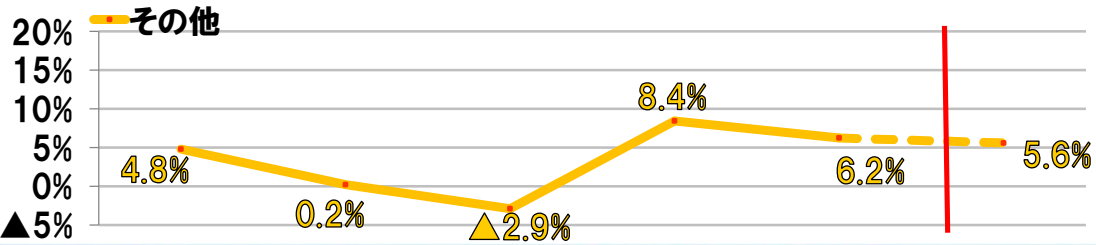
2021年度下期は、上期比でアジア・日本での増加によりわずかに増収の見込みですが、素材価格高騰の影響により営業利益率は低下する見込みです。



売上収益変動内訳 その他



●営業利益率



【売上収益変動内訳 その他】

その他事業セグメントの売上収益を地域別に見たものでございます。

他セグメントと同様、2021年度上期はコロナウィルス感染症の影響からの回復により前年同期比増収、増収により営業利益率は上昇しました。

2021年度下期は、アジアの2輪を中心に上期比増収となる見込みではあるものの、素材価格の高騰により、営業利益率は若干低下する見込みです。

ご清聴ありがとうございました。



2021/ 12/6 管理本部

19/19

以上、2021年度上期の決算概要、および2021年度下期及び通期の見込についてご説明申し上げます。

ありがとうございました。

なお、本資料以外にも下記の資料を公開しておりますので、ご覧ください。

- ・ 2021年度中間決算報告：弊社社長の久川より、中期的な数量見込や長期的な取り組み内容などについてご説明申し上げます。
- ・ EXEDY NOW : 連結・単体の財務諸表やグループ各社の財務数値などを記載したデータブックでございます